STEP

4/24 第1回プロジェクト科目

・オリエンテーション

年度前期

STEP

5/8 第2回プロジェクト科目

・コアコンセプト説明

5/12~14 岩室視察・調査

5/13 第3回合同会議(岩室)

STEP

5/22 第3回プロジェクト科目

・観光デザイン計画チームの中間報告

STEP

6/5 第4回プロジェクト科目

- ・サイン計画チームの中間報告
- ・ワークショップ計画チームの中間報告

STEP

6/19 第5回プロジェクト科目

- ・キャラクター開発チームの中間報告
- ・ストリートファニチュアチームの中間報告

6/23~25 岩室視察・調査

・中間プレゼンテーション実施

STEP

7/3 第6回プロジェクト科目

・全体構成のフレーム検討

7/24 第4回合同会議(ムサビ)

・前期最終プレゼンテーション実施

プロジェクトブック

現代GP「いわむろのみらい」創生プロジェクト

# プロジェクトコーディネーション

通年 〈毎週 火5限〉 9-722 コアグループ 10 名 (3年生)

### ■プロジェクト概要

各学科で行われる「いわむろのみらい」創生プロジェクトにお ける様々な計画に対し、コアコンセプトにそったトータルコー ディネートを行う。そのために学科・学年・地域の枠をこえて、 きめ細やかな情報交換や調査などを行い、プロジェクト全体の コーディネート行う。

# ■指導教員



宮島 慎吾 教授

### ■プロジェクト計画

STFP 1

5/1 コアワークの今後の展開について コアコンセプトオリエンテーションについて コンセプトブック制作について

STEP 2

5/15 コアコンセプトの具現化について/景観

5/29 コアコンセプトの具現化について/産物

STEP 3

STEP

6/12 コアコンセプトの具現化について/生活

4

6/26 コアコンセプトの具現化について/もてなし

STFP 5

> 7/10コアコンセプトの具現化について/催し

STFP 6

7/17第4回合同会議での最終プレゼンテーションの準備

# ストリートファニチュア計画

前期 〈毎週月・水3限〉 7-202 参加学生9名(4年生6名・院生3名)

## ■プロジェクト概要

このプロジェクトは、ストリートファニチュア(公共空間の家具/ベ ンチなど)が岩室の方々の生活に密着したものとなるために、 その制作のプロセスから完成に至るまで、常に地元住民の方々 の協力と参加を仰ぎながら展開される。その中から岩室地区の 魅力を再発見し、地域住民、観光客双方にとっての「快適で魅 力ある岩室」の可能を探る。最終的にはストリートファニチュアの 実物を制作、設置することで、岩室の人々自身の手による「いわ むろのみらい」の発見と展開へと繋がるきっかけとしたい。

#### ■指導教員



森豪男 教授

### ■プロジェクト計画

- STEP ・オリエンテーション
  - ・岩室温泉におけるストリートファニチュアとは?

2

- STEP ・現地にて、住民の方との共同開発の可能性を調査
  - ・素材、テーマ、コンセプトの検討

3

- STEP ・視察調査の整理
  - · 構想展開
  - ・学内にて、共同制作のきっかけとするための小さな ストリートファニチュアの部品を制作

- STEP・中間報告に向けての発表内容検討及び準備
- 4 ・図面及び模型制作
  - ・現地にて、地元住民の方々との共同制作
  - ・プロトタイプの設置

5

- STEP ・第5回プロジェクト科目において中間報告
  - ・岩室視察において時もと住民の方々との共同制作

- STEP ・ファニチュアの展示
- カタログ作成 6
  - ・第4回合同会議での最終プレゼンテーションの準備

# 観光デザイン計画

前期 <毎週 水 3・4 限> 10-415 参加学生 10 名(4 年生)

## ■プロジェクト概要

日常暮らしているまちを知っていますか。そのまちとどんな関わりを持って生活していますか。意外と「見ているのに見えていない、知っているのに知らせていない」ことがたくさんあります。このプロジェクトでは、こんな地域に埋もれているものや眠っていることを発掘して、わかりやすく知らせることを目的としています。観光を情報の視点から捉え、多様なアイテム開発からPR展開まで、岩室地域の特色を出した観光デザインを提案します。

#### ■指導教員





宮島 慎吾 教授

野口 正治 非常勤講師

### ■プロジェクト計画

STEP

- ・オリエンテーション
- ・観光デザインの視点/観光とは?

STEP

- ・観光デザインの展開について/リサーチ計画
- ・現地にて、岩室及び周辺観光地の調査
- ・調査の整理・報告計画

STEP

- ・第3回プロジェクト科目において中間報告
- ・観光デザインの要素1
- ・観光デザインの要素2

STEP

- ・卒業研究テーマ検討
- ・卒業研究テーマ提示

STEP

- ・観光デザインのプレゼン計画・観光ブックの計画
- 観光ブックのデザイン

STEP

- ・観光ブックのデザイン制作
- ・観光ブックの完成・プレゼン計画

# サイン計画

通年 <毎週 金 5 限> 10-309 参加学生 4 名 (4年生 2 名・3 年生 2 名)

### ■プロジェクト概要

岩室温泉へのアクセスを重点に、将来構想に寄与するような街づくりの観点にたったサインシステム(標識・マークなど)を計画する。計画に当たっては、住民・商業・顧客からの視点を調査・集約し、また各プロジェクトと連携し、相互関係の中で岩室らしいサインシステムを模索していく。最終的には、総意に基づいた斬新なサインシステムの計画を目指す。

#### ■指導教員



後藤 吉郎 教授

#### ■プロジェクト計画

STE

STEP ・オリエンテーション

STEP

- ・現地にて、アクセスポイントを重点に岩室調査
- ・調査の整理

STEP

・他地域のサインシステムを検証する

3

・第4回プロジェクト科目において中間報告

STEP

5

STEP ・ワークショップと共同で、住民・商業の意識調査

・調査の整理

STEP

・岩室の未来像を考察する。

6

# ワークショップ計画

通年 <毎週 木3限> 10-305 参加学生11名(4年生9名・3年生2名)

## ■プロジェクト概要

コアコンセプトに添って、「岩室地区の暮らし」をテーマとし、地域住民とともに、コミュニティの再発見、世代間の交流を目的にしたコミュニティワークショップ(体験学習/みんなでわがまち発見!)を計画、実行、記録する。ワークショップの成果は、ミニシアター発表会、コミュニティマップ、遊びマップなどにまとめられる。まとめのメディアは地域の学校などで活用されることも考慮する。また、別途授業で行われる国分寺市、小平市におけるワークショップやフィールド活動との同調や比較なども考えられる。

#### ■指導教員



斎藤 啓子 教授

### ■プロジェクト計画

STEP

- ・オリエンテーション
- ・岩室におけるワークショプを考える
- ・事例研究

STEP

- ・岩室視察にて、住民の方々との対話
- ・ワークショップの目標検討

STEP

- ・視察調査の整理
- ・中間報告に向けての発表内容検討及び準備
- ・ワークショップの計画

STEP **4** 

・第4回プロジェクト科目において中間報告

STEP

・岩室視察にて、住民の方々とワークショップ実施

5

STFP

6

・ワークショップの記録作成

・第4回合同会議での最終プレゼンテーションの準備

# キャラクター開発

前期 9-502 参加学生 5 名 (2 年生 2 名・1 年生 3 名)

#### ■プロジェクト概要

岩室に対する関心や親しみ、愛着を持ってもらうためのシンボルやイメージとしてのキャラクターを開発する。土地の伝統文化、産品、地形、観光資産などを広範に調査し、岩室固有のモチーフを探索する。現地調査に加えて、各種資料の分析と、地元の人々へのインタビューを中心に調査を実施する。モチーフ方針が決定後は、受け手の視点を加味した造形上の推敲と、使用メディアによるバリエーションの研究を行う。最終的には具体的な展開事例を列挙しての提案としたい。

#### ■指導教員





楫 義田 教授

岡部 あおみ 教授

### ■プロジェクト計画

STE

STEP ・オリエンテーション

STEF

- STEP・現地調査を実施し、資料収集、インタビューを行う
  - ・現地調査による資料の解読と分析
  - ・インタビュー内容の精査

3

- STEP・モチーフの検討とイメージの共有
  - ・造形コンセプトの設定
  - ・ 造形の検討

STEP 4

- ・造形の検討
- ・メディアと展開事例の検討

STEP

6

・第5回プロジェクト科目において中間報告

5

STEP・キャラクター造形候補の選定

・4回合同会議での最終プレゼンテーションの準備